

令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者一覧

【保全活動部門(20件)】

計31件

No.	受賞者	功績概要	推薦元
1	はたけやま やすお 畠山 安夫 (岩手県)	平成19年より、三陸復興国立公園の真崎地区において、清掃や草刈、倒木の処理を行い、自然災害発生時等は現場を踏査し点検する等、積極的に活動し同地区の環境保全に努める。また、自然歩道利用者に対し、ゴミの持ち帰りの呼びかけや違反行為の指導を行う等、地域の自然環境保護活動に尽力。	岩手県
2	おおもり しんご 大森 真吾 (岩手県)	平成19年より、三陸復興国立公園の浄土ヶ浜において、自然歩道の清掃や草刈、倒木や病木の処理等に加え、清掃イベントへ積極的に参加協力し、同地区の美化活動を行う。また、利用者へのゴミの持ち帰りの呼びかけや違反者への指導、利用者が快適に自然散策できる環境整備等、地域の自然環境保護活動に尽力。	岩手県
3	いそやまとゆかいななかまたち 礒山とゆかいな仲間達 (栃木県)	平成16年より、真岡市の南東部に位置する礒山で動植物等の保護のための育樹・植樹活動を行い、地元自治会や周辺保育園等と連携した活動を実施。また、真岡市と協定を締結して、継続的な美化活動を通じた里山林の維持管理・保全活動に取り組むなど、地域の自然環境保護活動に尽力。	栃木県
4	なるしま えつお 成島 悦雄 (東京都)	昭和51年より、トキの健康管理、飼育繁殖、野生復帰に関わり、現在の野生復帰成功の礎を築くほか、タンチョウ、チンパンジーの国際血統登録に貢献し、野生動物保全の重要性を説く等、自然環境保全活動に尽力。	公益社団法人 日本動物園水族館協会
5	あべ よしたか 安部 義孝 (東京都)	平成12年より、アクアマリンふくしまの初代館長として、「海を通して人と地球の未来を考える」という理念のもと「環境水族館宣言」を行うとともに、子どもたちが「自然への扉」を開く体験的学習の場を提供し、次世代育成などに取り組んだ。また、東日本大震災の際には深刻な被害を受けながらも4か月という驚愕のスピードで再開させた等、地域の自然環境保護活動に尽力。	公益社団法人 日本動物園水族館協会
6	いっばんざいだんほうじん せぶん-いれぶんきねんざいだん 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 (東京都)	平成5年より、全国の環境保全活動を支援を行い、活動するための人材育成として、平成14年から公募制の「環境NPOリーダー海外研修」を実施。海外の環境NPOで組織運営や活動技術などを学び、現場で活かすことを目的としている。また、活動団体や行政と連携し長期的な計画を立て、地域の自然環境やニーズに合わせて、セブン-イレブンの関係者も参加した自然づくり(森、河畔林や海、草原等)にも活動の場を広げている等、地域の自然環境保護活動に尽力。	国立公園利用推進室
7	ほしの むねお 星野 宗男 (新潟県)	昭和48年より、柏崎市からの登山道整備依頼を契機に、米山において、草刈りなどによる登山利用客にとって快適な利用環境づくりと階段やロープの取り付けなどによる安全上の保守管理を行う。その後、刈羽黒姫山においても、登山道整備を行う。また、旗持山の登山道整備や桐海新道のコース整備を主としながら、有志を募り米山の清掃、児童や生徒に対して米山の登山案内を行うなど、地域の自然環境保護活動に尽力。	新潟県

8	うえはら あきら 植原 彰 (山梨県)	昭和56年より、自然観察指導員として子ども対象の自然観察会を実施するほか、「やまなしナチュラリストの会」、「自然観察指導員山梨県連絡会」、「乙女高原ファンクラブ」を発足し様々な自然保護活動を展開。自然観察指導員講習会講師に抜擢され、秋田県を皮切りに全国各地で自然観察指導の哲学と技法を伝授。自然観察指導の研修会講師も100回以上務め、「自然観察からはじまる自然保護」を社会に根付かせる等、自然環境保護活動に尽力。	公益社団法人 日本環境教育フォーラム
9	とくていひえいりかつどうほうじん しらかわごうしぜんきょうせいふおーらむ 特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム (岐阜県)	平成17年より、白川村において、トヨタ白川郷自然学校の利用者を対象に自然体験プログラムを実施し環境教育等に関する普及啓発活動、村内の小中学生を対象にした自然体験や伝統文化の学習を行うふるさと学習支援活動、村及び周辺地域の自然や文化資源を活用したエコツアーを企画・催行活動等、地域の自然環境保護活動に尽力。	岐阜県
10	はやし すずむ 林 進 (愛知県)	平成元年より、犬山市において、自生地があるヒツバタゴの保全活動をはじめ、愛知県を中心に国天然記念物の樹木の保全に従事するほか、永年にわたり国花とされる桜の保全にも尽力し、専門的な知見と豊富な実績のもと地元住民や関係機関と連携や協力し、継続的な活動行う等、地域の自然環境保護に尽力。	愛知県
11	おくだ さだお 奥田 定雄 (京都府)	昭和40年より、京都府の猟友会の役員として、身近な野生動物の管理活動を牽引。また、野生鳥獣の保護及び管理において、重要な役割を担う狩猟者の養成と技術伝承のため、京都府が実施するインターン・マイスター制度のマイスターとして、担い手育成に大きく貢献する等、地域の環境保全活動に尽力。	京都府
12	いずみかつらぎさんぶなあいじゅくらぶ 和泉葛城山ブナ愛樹クラブ (大阪府)	平成13年より、和泉葛城山において、ブナ林と周辺ゾーンの自然を次世代に継承すべく、個別のブナの生育状況やブナ林の生育環境に関する調査、果実の採取・播種、育苗、植樹等のブナ育成活動、観察会の開催、HPでの情報発信等、地域の自然環境保護活動に尽力。	大阪府
13	いのうえ りゅういち 井上 龍一 (奈良県)	昭和54年より、奈良県内において、国内希少種ヤマトサンショウウオの生息状況について継続調査を実施するほか、県内の特定希少野生動植物ナゴヤダルマガエルの保全活動および生息地でのモニタリング調査を20年以上継続。また、休耕田を自力で再生させ、「木蔵風の谷生き物の里」を開設、維持、管理し、その場所を使って自然環境教育を実施する等、地域の自然環境保護活動に尽力。	奈良県
14	ひらた ひろやす 平田 寛容 (島根県)	平成18年より、大山隠岐国立公園島根半島東部地域をはじめ県内の様々な自然公園において幅広く活動しており、公園内のパトロール、施設の状況把握及び県への報告、利用者指導、県外からの来訪者への自然解説、自然環境保護思想の普及啓発等、地域の自然環境保護活動に尽力。	島根県
15	ひらた せつこ 平田 節子 (島根県)	平成18年より、大山隠岐国立公園島根半島東部地域をはじめ県内の様々な自然公園において幅広く活動しており、公園内のパトロール、施設の状況把握及び県への報告、利用者指導、県外からの来訪者への自然解説、自然環境保護思想の普及啓発等、地域の自然環境保護活動に尽力。	島根県
16	せいけ げんたろう 清家 源太郎 (愛媛県)	平成元年より、宇和島市内において、四国のみち(旧へんろみち・柏坂越えのみち)を中心に、倒木の撤去や落葉の清掃、施設や標識などの維持管理活動、利用者の安全確保や声かけを行い、自然環境保全意識の普及啓発等、地域の自然環境保護活動に尽力。	愛媛県
17	こうえきしゃだんほうじん ししまがはらほごきょうかい 公益社団法人志島ヶ原保護協会 (愛媛県)	昭和50年より、志島ヶ原海岸において、防風林となる樹齢100～300年のアカマツやクロマツの松林や海岸の保護や植樹、周辺の美化活動、祭事等の活動で幅広い世代に自然への理解を深める機会を提供する等、地域の自然環境保護活動に尽力。	愛媛県

18	はやめにこにこ会 (福岡県)	平成8年より、諏訪川河川敷や延命公園において、草刈りや菜の花の種まきの取組、絶滅危惧種のカスミサンショウウオの保護育成の取組、自然遊歩道の整備等、地域の自然環境保護に尽力。	福岡県
19	その ひろあき 藺 博明 (鹿児島県)	平成7年に、アマミノクロウサギやルリカケスなどを原告とする自然の権利訴訟を起こし、多くの国民の目を自然破壊や環境問題に向けさせ、奄美大島の野生生物や自然生態系の貴重さが海外にも広く知られるようになる等、奄美大島の自然環境保護に尽力。	公益財団法人 日本生態系協会
20	とりかい ひさひろ 鳥飼 久裕 (鹿児島県)	平成12年より、奄美大島において固有種のおオトラツグミやアマミヤマシギの保護増殖、生息調査運営を行うほか、奄美大島の鳥類の保護活動、普及啓発活動を精力的に行い、奄美大島の自然環境保護活動に尽力。	公益財団法人 日本鳥類保護連盟

【いきもの環境づくり・みどり部門(3件)】

No.	受賞者		
21	はらしま まさみ 原島 政巳 (千葉県)	平成4年より、鳥獣保護管理員となって以来、行徳鳥獣保護区等の管理やガンカモ科鳥類生息調査を始めとした各種野鳥生息調査、傷病鳥獣保護活動を実施。また、野鳥密猟者の指導取締りを行うとともに、行徳野鳥観察舎における各種行事にも積極的に参加する等、いきもの環境づくり活動に尽力。	千葉県
22	こうえきざいだんほうじん こめりみどりいくせいざいだん 公益財団法人 コメリ緑育成財団 (新潟県)	平成11年より、全国のコメリ店舗近隣の幼稚園や保育園、小中学校等を対象に、花苗・プランター・土等を提供するとともに、コメリ従業員が苗の植え方や育て方を子どもたちに教えつつ、緑を大切に育てるという経験と、それに必要な技術を提供している「コメリ緑資金ボランティア」活動を実施する等、みどりの普及等推進活動に尽力。	関東地方環境事務所
23	かわにしさとやまくらぶ 川西里山クラブ (兵庫県)	平成17年より活動を開始しており、妙見山上の桜谷にエドヒガン群落を発見し保護・育成を行う等して川西市の天然記念物指定に貢献。約40haの里山の維持管理を年間約30回行うとともに、エドヒガン・クヌギの植樹や里山散策等の県民向けイベント年間約20回実施する等、みどりの普及等推進活動に尽力。	兵庫県

【自然ふれあい部門(4件)】

No.	受賞者		
24	くさの ひでお 草野 秀雄 (福島県)	平成11年より、磐梯朝日国立公園を中心に公園の保全活動や訪れた人へのガイド活動を行い、平成13年に「いわきの森に親しむ会」を発足。森との共生をテーマに開催された「うつくしま未来博森のネイチャーツアー&森の学校」のいわき版の作成の目的とした活動を行い、現在は、いわき市環境アドバイザーとして福島県いわき市を中心に、小学校、公民館、自然公園などにおける自然体験活動や自然環境学習等の支援・指導を実施する等、自然とのふれあい活動に尽力。	福島県
25	うつくしいせあぶりのもりをつくるかい 美しい背あぶりの森をつくる会 (福島県)	平成13年より、福島県会津にある背あぶり山を守り育てるため「美しい背あぶりの森をつくる会」を発足。一般参加者と遊歩道の清掃、自然観察会、食用植物・危険植物についての勉強会、植林・下草刈り・除伐間伐・下枝切等里山づくり等、自然とのふれあい活動に尽力。	福島県
26	とくていひえいりかつどうほうじん えぬびーおーとみさとのほたる 特定非営利活動法人 NPO富里のホタル (千葉県)	平成19年より、ヘイケボタル自然発生地天神谷津での環境保全活動を行い、谷津の整備を進めながら、市民の郷土愛の醸成と異世代交流として四季折々の体験プログラムを実施。また、児童らに自然観察会や稲作体験、紙芝居等上演し、継続的に市民・子ども達に大きな影響を与え続けている等、自然とのふれあい活動に尽力。	千葉県

27	ちよつき はじめ 一寸木 肇 (神奈川県)	平成元年より、自然観察指導員講習会講師・研修会講師として全国に自然環境教育の手法を、野外実習と講義によって指導を行うほか、幼児・小学生の自然観察会について、五感で自然を感じ、観察しつつも、自然が普段の生活につながっていることや、暮らしの基盤になっているという自然保護や環境保全につながることを指導するなどの先進的な学習指導を取り入れる等、自然とのふれあい活動に尽力。	公益財団法人 日本自然保護協会
----	-----------------------------	---	-----------------

【調査・学術研究部門(4件)】

No.	受賞者		
28	ふくだ よしひろ 福田 佳弘 (北海道)	平成9年より、知床ウトロ海域において、マダラウミスズメやケイマフリを中心に海鳥の生息状況調査を継続的に行い、ウトロ海域を利用する各関係者と持続可能なウトロ海域の利用を目指す活動を始め、絶滅危惧種であるケイマフリの生息・繁殖に影響を与えないような観光船の運航ルールを策定を行う等、海鳥等の調査・研究活動に尽力。	釧路自然環境事務所
29	たけだ まさつね 武田 正倫 (東京都)	昭和61年より、環境省(庁)の「緊急に保護を要する動植物の種の選定調査」に分科会委員として参画し、レッドリストとレッドデータブックの作成を行った。また、平成12年から開始された生物分類技能検定の水圏生物部門委員として活躍する等、生物分類等の調査・研究活動に尽力。	一般財団法人 自然環境研究センター
30	いいだ はじめ 飯田 肇 (富山県)	昭和53年より、日本には氷河が存在しないといわれていた時代に、観測機器の発達を受けて精密な継続的な観測を行い、氷河であることを実証したと同時に、気候変動に関わる気象の急激な変化の様相などを山岳ガイドや登山者に啓発、気象遭難の防止に務める等、氷河等の調査・研究活動に尽力。	公益社団法人 日本山岳ガイド協会
31	ひおき よしゆき 日置 佳之 (鳥取県)	平成15年より、鳥取県内を中心に全国各地で行政や民間企業等へ自然再生に関わる調査や保全活動・指導、生物多様性の向上を目的とした各種環境整備を実施。特に大山隠岐国立公園内にある鏡ヶ成の草原及び湿原においては、草原及び湿原環境の再生や希少種の保全に係る継続的な各種調査研究・活動を実施する等、自然再生等の調査・研究活動に尽力。	中国四国地方環境事務所